

CRITICAL APPRAISAL SKILLS PROGRAMME

質的研究（定性的研究）を理解するための 10 の チェックポイント

ver. 1.1b

General comments

- 最初の2つのチェックポイントがふるい分けのためのものです。簡単に答えられます。もし、この2つが「はい」であるならば、さらにチェックを続ける価値があります。
- いくつかヒントがイタリック体で書かれています。そのチェックポイントの意義について説明しています。とはいえ、そのすべての項目に当てはまらなければならないというわけではありませんのでご注意ください。

いくつかのチェックポイントでは、「はい」と「いいえ」の間どこにあたるかという風に、スケールで答えていただきます。補足質問がある場合には、まずその補足質問に答えてください。そして、ひとつひとつの補足質問から総合的に判断して、ひとつの答えを導き出し、そのスケールにチェックしてください。

この10のチェックポイントは英国 CASP 質的手法の協力によって開発されました。

© Critical Appraisal Skills Programme (CASP) 2000. All rights reserved. このチェックポイントのどの部分も CASP の許可なしに、どのような手段によっても、コピーしたり電子媒体や模写などによる複製をすることはできません。営利を目的としない教育・学習目的であれば、出典を明記した上で利用することは許可されています。これ以外の複写や利用に関しては CASP まで問い合わせてください。

翻訳： CASP Japan <http://CASPjp/umin.ac.jp>

スクリーニングのためのチェックポイント

<p>1 その研究の目的が明確に示されていたか？</p> <p>ヒント: 何を明らかにしようとしたか？ それが重要である理由は？ その今日的な意義は？</p>	<p>はい いいえ</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
<p>2 質的研究の方法は適切であったか？</p> <p>ヒント: その研究では、研究対象となった人たちの主観的な経験や思いを理解したり解明したりしようとしているか？</p>	<p>はい いいえ</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>

詳細なチェックポイント:

<p>3 サンプルング方法</p> <p>以下の点は明確であったか:</p> <p>a) 対象はどこから選ばれたか、そしてその理由は？</p> <p>b) 誰が選ばれたか、そしてその理由は？</p> <p>c) どのような手順で選ばれたか、そしてその理由は？</p> <p>d) サンプル数（サンプルサイズ）は適切だったか？</p> <p>e) 参加しなかった人の理由は明確であったか？</p> <p>ヒント: データの飽和状態を考慮しよう</p> <p>サンプルング方法は目的にかなった適切なものであったか？</p>	<p>はい いいえ</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
<p>4 データ収集方法</p> <p>以下は明確であったか:</p> <p>a) データ収集はどのような状況で行われ、なぜその状況が選ばれたか？</p> <p>b) データ収集はどのようにして行われ、その理由は？ ヒント: フォーカスグループ、構造化インタビューなど</p> <p>c) どのデータが記録されたか、その理由は？ ヒント: 録音、メモなど</p> <p>d) 調査の過程で収集方法が変更されていなかったか、その理由は？</p> <p>データは研究の目的にかなった方法で集められたか？</p>	<p>はい いいえ</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>

<p>5 データ分析</p> <p>以下は明確であったか:</p> <ul style="list-style-type: none"> a) どのように分析は行われたか b) どのように分類（カテゴリー）や主題（テーマ）がデータから導き出されたか？ 十分な記載があるか？ c) その知見の信頼性を確かめるための手順（ステップ）がとられていないか？ <p>以下の点は確かと思われるか:</p> <ul style="list-style-type: none"> d) すべてのデータが考慮されているか <p>ヒント: 研究者の主張を支持するものと反対するものの両方の証拠（エビデンス）について十分なディスカッションが行われているか？ 回答者に結果を返すことが行われたか、あるいは、適当な同じ課題に関する他の情報源からのデータを使い比較すること（トライアングレーション：三角測量の意）が行われたか 信頼性を確かめるために、分析は複数の研究者によって再確認されたか？</p> <p>データ分析の厳密性は十分であったか？</p>	<p>はい いいえ</p> <div style="text-align: center;"> </div>
<p>6 研究のパートナーシップ</p> <p>以下の点は明確であったか</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 研究者は、自らの役割、バイアスの可能性、影響などについて、徹底した考察を行ったか？ b) どこでデータが集められ、どうしてその状況が選ばれたか？ c) 参加者に対して、どのように研究者は説明を行ったか？ <p>ヒント: 以上について、秘密性、倫理性、研究結果の影響などについて考慮する</p> <p>研究者と参加者との関係についての配慮は十分であったか？</p>	<p>はい いいえ</p> <div style="text-align: center;"> </div>

7 研究の知見

ヒント: 知見は何か それは明白でありわかりやすいか?

はい

いいえ

その知見について、明確な記載があるか?

8 データ解釈の正当性

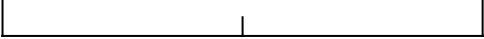

- a) その知見を支持するデータは十分であるか?
- b) 研究者は、元のサンプルからどのように論文中に示されたデータが選ばれたか説明しているか?

ヒント: 引用の選択基準、回答者の詳細、データの役割は何か、たとえば、イラストや、記載された「しゃれた」引用など

研究者は記述されたデータとそのデータが含まれる自分の知見との関連について示したか?

はい

いいえ

<p>9 応用可能性</p> <p>ヒント 以下を考慮しよう: - この調査が行われた背景や状況が、あなたの背景や状況との相似性や相違性を判断できるほど詳細に記載されたか?</p> <p>その研究の知見はより広範な対象に应用可能であるか?</p>	<p>はい いいえ</p> 
<p>10 妥当性と有用性</p> <p>a) 研究の目的を検討するためには? b) 理解する上で新しい重要なことや、新しい洞察、異なる見方を提供する上では? c) さらなる研究を考案するためには? d) 政策や業務への影響上は?</p> <p>この研究の妥当性はどれほどか? あなたの患者にとって、課題にとって、シナリオにとって あなた個人にとって</p> <p>これらの知見は業務に関してどれほど重要か?</p>	<p>とてもある 全くない</p>  <p>とてもある 全くない</p> 